

8-4-6 業務研究発表会WG

1. WG 設置主旨

本WGは、建設コンサルタントの継続教育の一環として、平成13年度より開催される「建設コンサルタント 業務研究発表会」を円滑に開催するため、令和元年度より設置された。業務研究発表会は、「業務における優れた成果や自主研究開発成果の発表を通じて、互いの技術の研鑽を図ること」を目的としており、それを具現化するための検討・準備を実施するWGであり、今回で23回目の開催となった。

2. 主な活動の記録

毎年9月の業務研究発表会開催に向けて、インフラストラクチャー研究会と共同して、主に以下の活動を実施した。

(1) ワーキングの開催（計5回の開催）

メール審議開催やWeb/会場開催で協議を行った。主な会議開催概要は下記となる。

a) 第1回 運営会議（6月16日）

今年度開催にあたり、開催方針、スケジュールについての協議を実施した。

b) 第2回運営会議（8月24日）

発表会当日のプログラム、進行シナリオの確認、WGメンバーの役割分担を実施した。

c) 業務研究発表会 反省会（10月25日）

開催結果を報告、各種データを集計・分析・考察して概要を共有し、次年度に向けて課題抽出と改善策を協議した。

(2) 業務研究発表会の開催

インフラストラクチャー研究会並びに（一社）建設コンサルタンツ協会の共同主催による「第23回建設コンサルタント業務研究発表会」の二次審査会を令和5年9月12日（火）、赤坂インターシティコンファレンスにて開催した。

今年度は、これまでのオンライン配信による聴講者増大効果、審査員と発表者のコミュニケーション確保の観点から、開催会場にて審査員、発表者の対面参加による発表及び授賞式につい

てオンラインライブにて配信した。

その結果、「河川・水防災」、「交通・道路・橋梁」、「都市・マネジメント」、「新技術・新領域」の4分野32編より、最優秀賞1名、優秀賞3名、特別賞4名が選考され、同日開催会場にて表彰式を開催した。

なお、オンラインライブ配信であったこともあり、聴講者の延べ人数は1,867名となり、従来開催を大幅に上回る発表会となった。

今回は残念ながら、発表会終了後の海外視察報告会ならびに懇親会は中止となった。また、協会機関紙「Consultant」に昨年同様、開催結果を掲載した。

3. 次年度の活動について

24回目となる業務研究発表会であるが、昨年開催方法の課題、経験を活かし、オンライン配信による聴講者の増大、発表者と審査員間のコミュニケーション活発化を目指し、審査員、発表者の会場参加による発表会・質疑応答の模様をオンライン配信する開催とするとともに、ここ数年間コロナ禍の影響により中止されてきた懇親会については、withコロナでの開催を検討する時期であること、また、審査員と発表者が交流（意見交換）する場を設けることは重要であるとの見解から開催する方針にて決定した。

コンサルティング・エンジニアの技術研鑽という目的をより充実させ、昨今の働き方改革にも呼応した、誰もが参加できる機会としての業務研究発表会を目標とする。活動計画は次の通りである。

- ・第1回 運営会議（2月13日）前年度に前倒しで開催し、令和6年度開催方針について協議した。
- ・発表論文 一次審査会（6月21日）
- ・開催に向けた準備会（8月23日）
- ・令和6年度 業務研究発表会（9月10日）9:30開始～18:30終了（懇親会含む）
- ・業務研究発表会 反省会（10月中旬）

（業務研究発表会WGWG長 中山 敬邦）